

社会福祉法人笠木福祉会 放課後等デイともだち 発行責任者 中根賢明

こどもの最善の利益を求めて―「ともだち」の願い―③ 管理者：中根賢明

1) こどもに《生きる力》と《かしこさ》を!

【不自由のない快適で便利な社会を生きるこどもたち】 今日(こんにち)の社会は、高度に発達した科学文明のおかげで第2次世界大戦以降、日本はどんどん豊かになりました。物があふれ快適で便利な時代です。コンビニに行けば食べ物だけでなく何でも24時間手に入り、まったく何不自由なく暮らせます。しかしそんな便利な社会ですが、私たちの人生は幸せでしょうか？ こどもたちは幸せでしょうか？

【便利な社会ゆえに不幸な育ちのこどもたち】 快適で便利な社会ゆえにこどもたちは幸せな人生を送っているとは言えません。むしろ健全な《からだの育ち》や《心の育ち》を妨げています。

車社会は便利です。そのために歩くことが減り足腰が弱くなりました。ならば運動をすればいいのに、冷暖房の部屋でテレビやゲーム機で暇をつぶしています。それも《砂糖漬け、脂まみれ、添加物だらけの安いスナック菓子》ですので肥満・糖尿病・高血圧の生活習慣病(成人病)の予備軍になっています。つまり《からだの育ち》がおかしくなっています。また友だちと《徒党(ととう)》を組んで野山を駆け巡ることもなく友だちもいないので、人間関係が築けず孤立して《切れやすい》若者が増えています。つまり《心の育ち》が健全でないのです。そのために《生きる力》と生きる《かしこさ》が脆弱なのです。

【《放課後等デイともだち》で大切にしていること】 わたしたちはの今のこどもたちの育ちに欠けていることをよく認識して、それを補う活動(体で学ぶこと)を心掛けています。それは「いろいろな体験」を《仲間と一緒にする》ことです。かつてロバート・フルガムは「人生に必要な知恵は、すべて幼稚園の砂場で学んだ」と言いました。それは仲間といろいろな遊びを体験することで、生きてゆくうえで必要な人とのかかわり方・ルール、自然や社会の知識、人生の楽しみ等々を学んだということです。

それを大切にします。

◆ 《7・8月の活動・行事予定》 7月・8月は学校の長期休業中ですので、次回発行の「ともだちだより 7月号」NO.2で、来週お知らせします。

野菜のおいしさを感じよう

～みんなで協力して楽しく～

6月23日(土)にカレーを作りました。

さる16日(土)に23日(土)にカレークッキングをすることになり家から準備するものと、どんな食材を使って作りたいか考えてもらい当日に話をすることを伝えました。クッキングの前日に、「明日はカレーを作る日だよ。家から持ってくる必要な物があります。」と伝えると、すぐに気づいて「エプロン・三角巾・マスク」という返事が返ってきました。優心君は「僕は明日忘れないように準備するよ」と再確認までしました。そして次の日、笑顔で車から降りてきて「ほら、準備してきたよ」と見せてくれました。絶対に忘れなかったという思いが伝わってきました。そう思えるほどに、クッキング活動を楽しみにしてくれたんだな。と感じられて、とても嬉しく思いました。



22日(金)は、本当は子どもたちと一緒に入れる野菜を考えて買いに行きたかったのですが、学校の登校日だったので、材料の買い物へは、私たち支援員が行ってきました。

カレーに入れる野菜を先週考えてね。と伝えていたので、カレーに使う定番野菜と、カレーには入れないであろう野菜(どのように使おうとするか?)も加え、沢山の種類の色々な野菜に触れて味わってほしいと思い12品以上準備をしました。

当日は、朝の会で絵本『カレーライス』を読み聞かせをしました。作り方が楽しく描かれていて、絵本の世界と現実の世界とが結びつきイメージしやすいようです。子どもたちも絵本の世界に引き込まれじーっと見入っていました。

そのあとに、カレーの材料を話し合おうとすると、子どもたちから次々に出てくる野菜の名前。準備している野菜を何があるかと遠目にも確認しながら言っていました。色や形を見てすぐに何の野菜かが分かっているなど感じました。さらに、野菜を沢山カレーにも入れたい!という意見が多いことに嬉しく思いました。

カレーに入れる野菜は「人参、じゃが芋、玉ネギ、さつま芋、ピーマン、トマト、しめじ、肉」と決まりました。ところが、まだ、レタスと、キュウリが残っています。「これはどうする?」と聞くと、丸く葉が巻く形を見て「きゃべつ?レタス?」と悩んだ子もいました。



「カレーに入れてみる?」との意見と、「入れたくないよ」との意見に分かれる中「絵本にもう1品あったね」と声をかけると、絵本を見に行ってから「サラダにすればいいんだね」と気づき賛成する子ども達でした。

すると、「僕、サラダ作りたい。みんなに内緒の秘密サラダにする!」と武流君。サラダ係のリーダーとしてみんなに任されました。武流君は、責任を持って『野菜洗い⇒レタスちぎり、キュウリを切る⇒味付け』までしてくれました。途中で、「トマトがあるよ」というと、「トマトはいやだ」と断った武流君でしたが瑠唯君が「僕、トマト食べたい」とつぶやくと、「じゃ、1個だけね」と友達の思いを受け止めてくれた姿に感動しました。

カレー作りでは、包丁係になったのは、真心ちゃん、優心君。素材によって切り方も力加減も違って難しいので

すが、指先を切らないように意識しながらゆっくりと取り組んでいました。凌大君は、玉ネギを皮むきから、切るまでを最後まで、やりきってくれました。肉や野菜を丁寧に炒めてくれた結人君。そして、水を計量して持って来てくれた瑠唯君。

1人1人が、自分の役割に真剣に取り組むことができていました。

煮込んでいる間にシチュー・ハヤシ・カレー(甘・辛)の中から今日のメニューに合うルーは何がいいか話し合いました。私が「今日はカレーを作るって決めたもんね」というと、そうだった！と気づいた瑠唯君。「カレーだからカレールーを使うんだよ」というと、全員納得。次は、「甘辛どっち？」で議論。辛口を味見して「ピリピリするー！」「からいー！」という事で、甘口に決定！！仕上げには武流君ちの『オイスターソース』が隠し味に。理由は「前に入れて美味しかったから」という体験から。そして「前より少しだけ多く入れてみたいな」と、さらにおいしさを進化させたい子どもたちでした。

力を合わせて作ったお昼ごはん(カレーとサラダ)は、特別に美味しくておかわりをして食べていた子どもたちでした。

雨の散策～あじさい公園にいきました～

雨が降り続いてしまう梅雨ならではのこの時期ですが、日本の四季を感じる事ができる季節でもあるな～と思います。

今の時期だからこそ、じめじめとして、嫌なものだけでなく、雨の音や、匂い、景色を楽しみ、心地よいものでもないと、感じられる活動を楽しみたいと思いました。

そこで、梅雨の季節に咲く花、紫陽花を見に、あじさい公園に出かけてきました。色々なあじさいの花びらの形や、花の色の違いを近くで見たり、雨に濡れている花びらを流れる雫に手を伸ばして触れてみたり 雨・あじさいからイメージして「かえるや、カタツムリはいないかな～？」と探したり、していました。雨が止んだり、降ったりするたびに傘に当たる雨音の変化にも気づいたり、「これくらいなら大丈夫」とか、「降ってきた」と判断して傘をうまく利用していました。

展望台からの、雨降りの薄暗い景色もまた、風情があり、素敵でした。みんなで「お弁当を持ってきたらいいかもね～」と次回への楽しみも加わりました。来年も梅雨の季節、紫陽花の咲くころにお弁当を持って出かけたいなー。と思っています。

